

**町田リサイクル文化センター周辺まちづくりワークショップ
実施結果**

2017年3月

町田市

町田リサイクル文化センター周辺まちづくりワークショップ

実施結果

～ 目 次 ～

1	町田リサイクル文化センター周辺まちづくりワークショップ実施概要.....	1
	（1）目的	
	（2）参加者	
	（3）開催日程と主な内容	
	（4）意見交換の進め方	
	（5）ワークショップの検討対象・検討条件	
	（6）検討の流れ	
2	検討成果.....	7
	A グループの検討成果	
	B グループの検討成果	
	C グループの検討成果	
	D グループの検討成果	

1 町田リサイクル文化センター周辺まちづくりワークショップ実施概要

(1) 目的

- 町田リサイクル文化センターの建替えに伴い、施設を中心としたまちづくりを検討するにあたり、まちづくりを担っていく周辺地域の市民、特に子育て世代の意見をお聞きし、魅力ある住みよいまちづくりに活用していくために、ワークショップ（意見交換会）を実施しました。

(2) 参加者

- ワークショップは、「町田リサイクル文化センター周辺まちづくり協議会」のメンバー及び同協議会に所属する各町内会・自治会から子育て世代等の代表を募り、合計30名の参加者によって開催しました。

※参加者が欠席の場合、必要に応じて代理の方が出席。

(3) 開催日程と主な内容

開催日		主な内容
第1回	2017年1月28日（土） 13:30~16:00 会場 町田リサイクル文化センター・2階 研修室	○ワークショップの主旨・目的、検討対象等の説明 ○ワークショップ ・ワークショップの進め方の説明 ・グループごとに自己紹介、意見交換 ○検討結果の報告
第2回	2017年2月19日（日） 13:30~16:00 会場 忠生市民センター・地域活動室他	○ワークショップの進め方の説明 ・第1回ワークショップの振り返り ・本日の進め方の説明 ○ワークショップ ・グループごとの検討 ○検討結果の報告
第3回	2017年3月26日（日） 13:30~16:00 会場 忠生市民センター・ホール	○ワークショップの進め方の説明 ・第2回ワークショップの振り返り ・本日の進め方の説明 ○ワークショップ ・グループごとの検討 *提案の完成、発表の準備 ○検討成果発表会

(4) 意見交換の進め方

- ワークショップは、参加者30名が4グループ（各グループ7~8名）に分かれ、毎回グループごとに意見交換を行いました。
- 第3回には検討成果発表会を開催し、地域の方々にもお集まりいただき、検討成果の意見交換を行いました。

(5) ワークショップの検討対象・検討条件

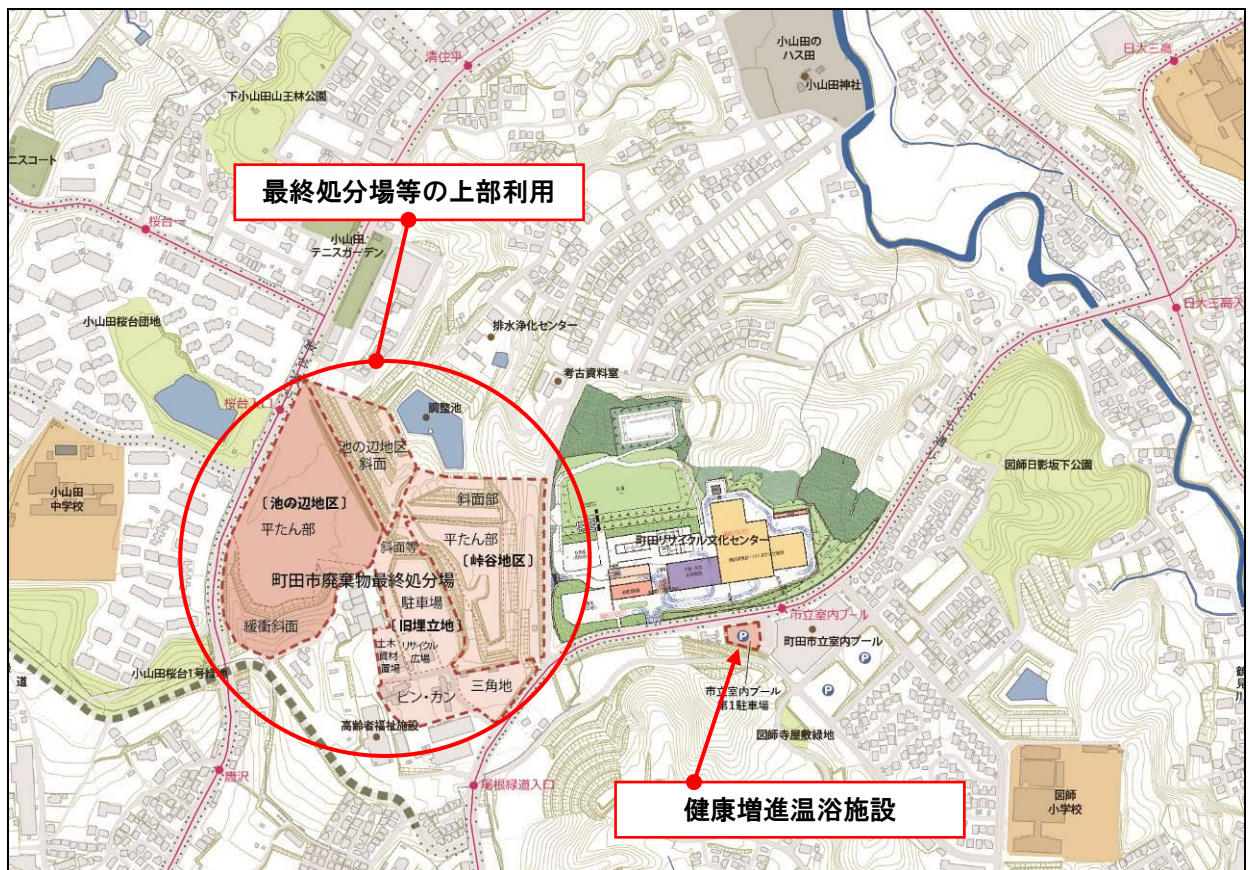
1) 検討対象

- ・ワークショップでの主な検討対象は、「町田リサイクル文化センター周辺まちづくり協議会」がとりまとめた「忠生地域・バリューアッププラン」の中で重点事業に位置づけられるとともに、「町田市5カ年計画 17-21」において今後5年間に実施する事業として位置づけられた「最終処分場等の上部利用」及び「健康増進温浴施設」を対象としました。

■主な検討内容

検討対象	主な検討内容
最終処分場等の上部利用	子育て世代から高齢者まで、すべての世代が有効に利用できる方法を検討
健康増進温浴施設	ゴミを焼却する際に出される熱エネルギーを活用した、様々な世代が求める健康増進温浴施設の主な機能を検討

■検討対象の位置図



2) 検討条件

①最終処分場等の上部利用

- 最終処分場等は、池の辺（いけのはた）地区、峠谷（とうげだに）地区、旧埋立地の3地区から構成されています。
- そのうち、池の辺地区は、一番早く整備が可能な地区です。一方、峠谷地区、旧埋立地を利用するためには、ビン・カンの中間処理施設等があるため、時間がかかります。
- そのため、最終処分場等の上部利用の検討については、最終処分場等全体の構想を検討しつつ、その中でも池の辺地区を中心に検討しました。

■最終処分場等の全体図



<池の辺地区の検討条件等>

【建築物等を作る場合の条件】

- 池の辺地区の地下には廃棄物（焼却灰）が埋まっているため、大きな建物やバックネットなどに用いる頑丈な支柱を立てることができません。
- 覆土が1～2m程度

【建てられるもの】

- 平屋のトイレ、平屋の管理棟などの建築物や低めのフェンスなど、軽量で簡易な基礎で建てられるものが考えられます。

【池の辺地区の規模】

全 体 : 約 34,000 ㎡

・平たん部: 約 26,000 ㎡

・緩衝斜面: 約 8,000 ㎡

ちなみに

小学校の平均面積: 16,900 ㎡

中学校の平均面積: 19,800 ㎡

図師小学校 : 20,500 ㎡

■池の辺地区



■ 現地の様子



池の辺地区（平たん部）



池の辺地区（平たん部と斜面）



池の辺地区（平たん部 桜台通り側）



池の辺地区（緩衝斜面）



峠谷地区（斜面）



峠谷地区（平たん部と斜面）



旧埋立地（三角地）



旧埋立地（リサイクル広場）

②健康増進温浴施設

- 健康増進温浴施設は、町田市立室内プールの第1駐車場の敷地を想定しました。

【検討対象範囲】 第1駐車場敷地 約860㎡（約260坪）

【建物の規模】 地上2～3階建てを想定



■現地の様子



駐車場全景



ロータリー



室内プール入口



駐車場入口

(6) 検討の流れ

- ・3回の議論では、各回で検討テーマを設け、「最終処分場等の上部利用」「健康増進温浴施設」について、それぞれ段階的に議論を深めていきました。
- ・第3回の検討で各グループが最終成果をまとめ、検討成果発表会を開催しました。

■各回の検討テーマと主な検討内容

	最終処分場等の上部利用	健康増進温浴施設
第1回	<テーマ> <u>この広い敷地を利用して、どんなことがしたいですか？</u> ・この敷地でしたいこととその理由 →青い付箋で記入 ・その他気になること →黄色い付箋に記入 ・模造紙にまとめる	<テーマ> <u>健康増進温浴施設にぜひ欲しい機能、あれば嬉しい機能は何ですか？</u> ・ぜひ欲しい機能、あれば嬉しい機能 →青い付箋に記入 ・その他気になること →黄色い付箋に記入 ・模造紙にまとめる
第2回	<テーマ> <u>敷地のスケール感を考えながら検討を深める</u> ・1/600の敷地図を用意 ・各施設の図面(1/600)やイメージ写真を敷地図に当てはめながら検討し、敷地の将来イメージを作成 図面：サッカー場、テニスコートなど イメージ写真：公園、広場など	<テーマ> <u>健康増進温浴施設の規模を考えながら検討を深める</u> ・第1回の検討であげられた様々な機能のイメージカードを用意 ・グループでイメージを共有し、何階にどんな機能があれば良いかを考え、イメージ写真を模造紙に貼る ・優先順位を意識しながら「ぜひ必要な機能」「あれば嬉しい機能」を提案
第3回	<テーマ> <u>提案の完成</u> ・第2回の検討成果の清書版を用意 ・これまでの議論を振り返り、提案内容についてグループで確認 ・追加修正事項等があれば、清書版を修正 ・その他に、これまでの検討を通して、重要だとグループ内で共有できた内容を文章にして模造紙でまとめる <u>検討成果発表会</u>	

2 検討成果

※以下に示す各グループの検討成果は、第3回の検討成果発表会での提案を清書したものです。

Aグループの検討成果



Aグループ

健康増進温浴施設の提案

多世代、ふれあいのお風呂(湯)

新しく欲しい機能

※機能をわけると施設人の負担に目が向かないため、機能は集約（プールは増やさない）



そもそも.....

温浴施設を作ること
が良いのか？

市民プールの建て替え
の際に一辺に行う

温浴施設以外の機能を充実

- ・機能を分ける
- ・家にもお風呂がある
→温浴施設だけでは行く必要がない
- ・「どの年代をターゲットにするか」により
機能が異なってくる

両施設を併せて
プールに来る人も楽しめる
施設を配置

既存施設の拡充



新しくなった市役所の食堂のようなものもGOOD

お酒も飲める

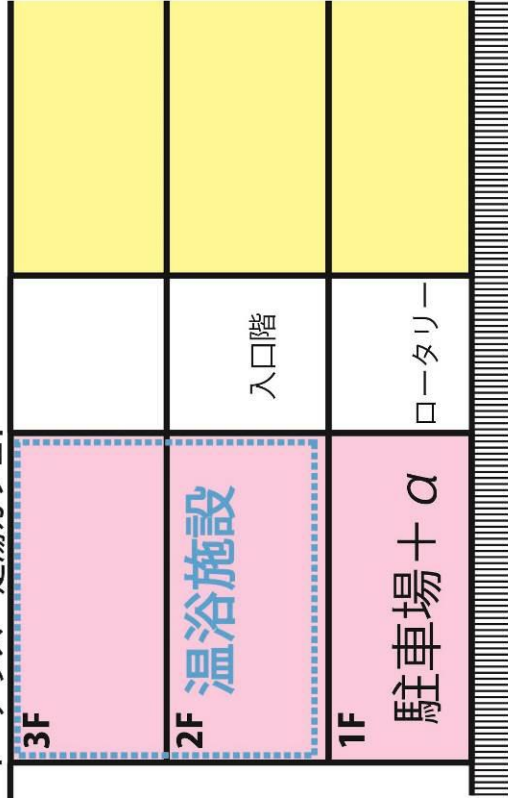
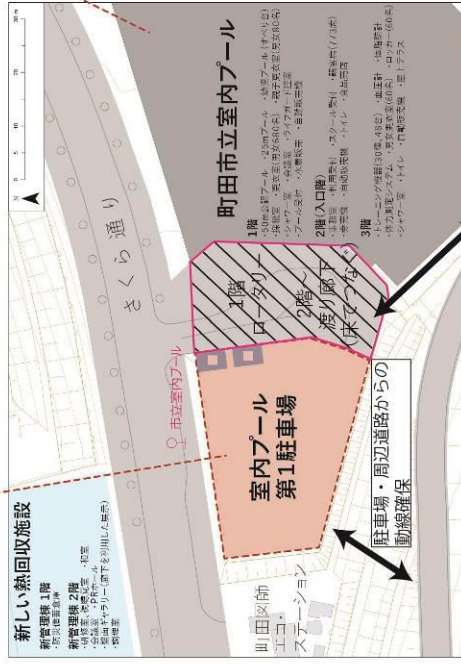
近くに食べる場所がない→レストラン・カフェの充実（拡充でも良い）

道路から
アクセス

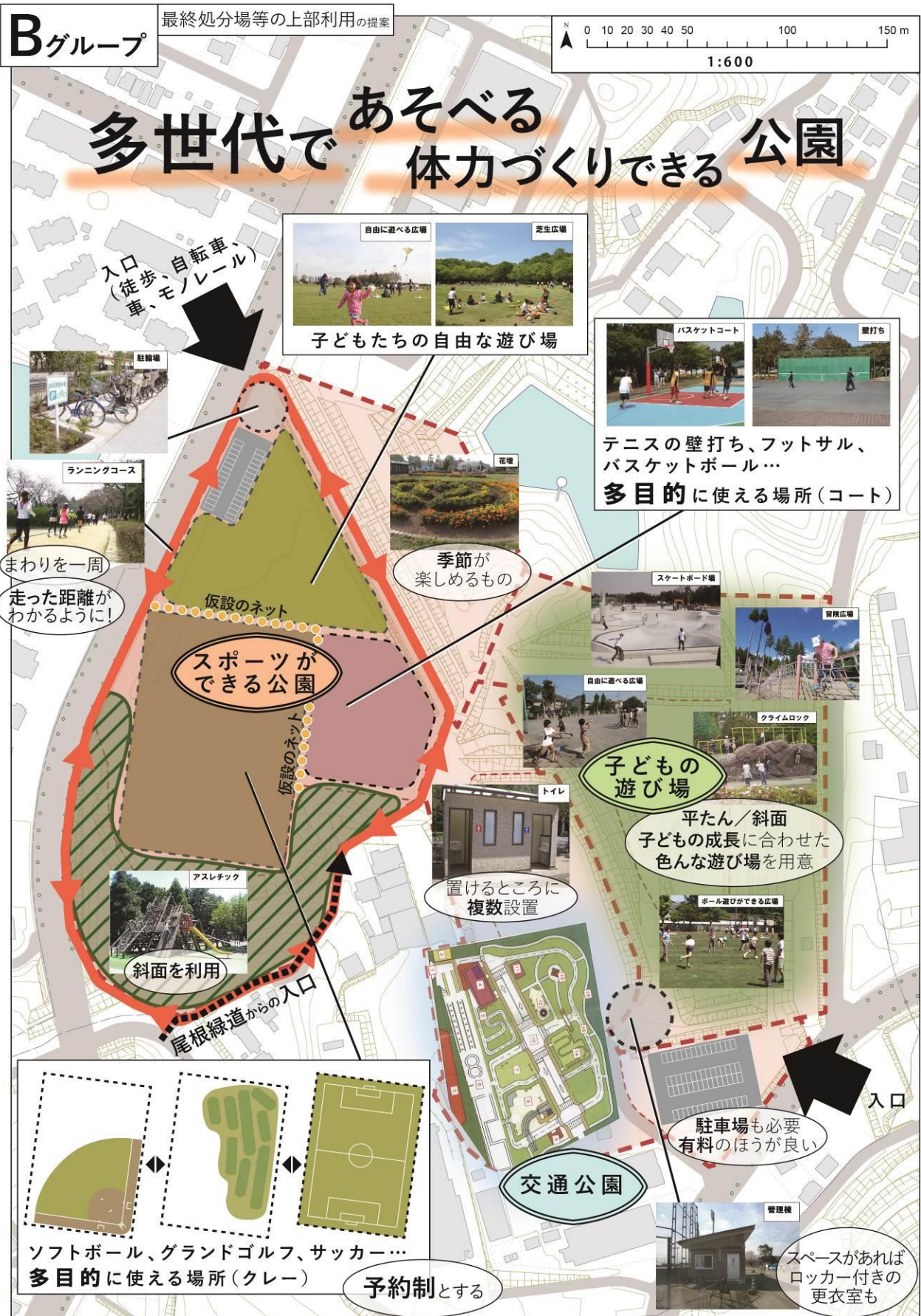
R(屋上利用) 誰でも気軽に
楽しめる！

テラス・足湯カフェ

課題
・周辺との高低差
・周辺からのアプローチ

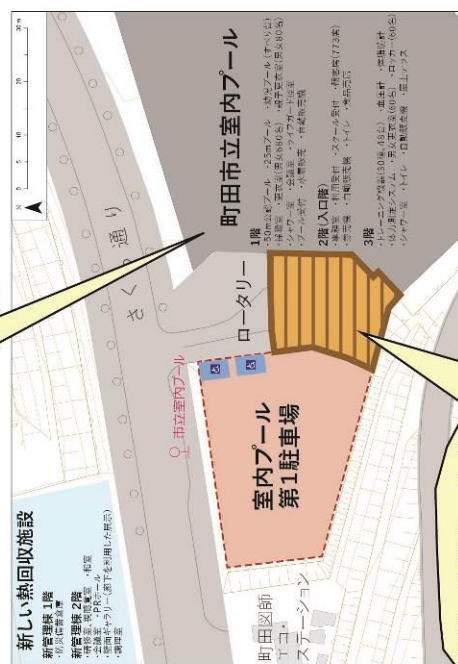


Bグループの検討成果



連携

室内プールの
軽食コーナー・厨房を
充実させる



- 2階・3階をつなぐ空間の有効利用
- 室内プールとのアクセス確保

絶対
ほしい！

あったら
うれしい

3階

リラックスできる
休憩室や売店
多目的に使えるスペース



階2

子どもから
リラックスできるお風呂



隨1

親子で気軽に來れる施設



Cグループの検討成果



図面の外に記録しておくこと（Cグループ）

最終処分場等の上部利用

1. 自由に使える広場ゾーン

- ・土（原っぱ）
- ・ボール遊びができる
- ・1人でもできる壁打ち、バスケットも
- ・子ども
- ・地域の交流

2. 幼児広場、花広場（斜面）

- ・尾根緑道との接続
- ・花の家との連携
- ・冒険広場
- ・ロックガーデン

3. 峠谷の専用グラウンド

- ・ソフトボール、テニス
- ・地区の大会

4. 連絡通路（通学路）：ぜひ必要 ※通学路の場合は安全対策が必要

- ・サイクルロード兼用（交通公園と接続）
- ・あちこちにベンチ

5. 交通公園

- ・小学生が練習できる場
- ・コミュニティサイクルの拠点

Cグループ

健康増進温浴施設の提案

<コンセプト>

○隣接施設との機能分担し、「癒し」の拠点に

○いざという時の避難拠点にも

文化

- ・プールと2階か3階で接続
- ・屋根付き

新しい熱回収施設

新管理棟 1階

・防炎構造名庫

新管理棟 2階

・切草室 吊橋室 和室

・会議室・PRホール

・運動チャリティー(廊下を利用した展示)

・調理室



プールの改修時に一緒に考えて、機能を決めた方がよい

3階：広い休憩サロン！避難拠点にも

- ・畳とフロアリング（床）を両方用意する
- ・フリーに使える（子供会の会合にも）



2階：お風呂

- ・お風呂2～3種類
- ・屋上に露天風呂？



避難拠点にも

1階：産直売り場と軽食コーナー

- ・自販機とフードコート、弁当も食べられる
- ・売店を充実！農家の直売も。



1階で買って、3階で食べることも

Dグループの検討成果



図面の外に記録しておくこと（Dグループ）

最終処分場等の上部利用

<テーマ> 誰でも遊べる はらっぱの公園

<ゾーン> 「子どもゾーン」「おとなゾーン」ですみわけ

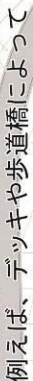
子どもゾーン：芝生広場 球技可能広場 斜面利用広場

おとなゾーン：まずは子どもゾーンを整備、後におとなゾーン

→その時代の需要で計画を検討

（例えば、自転車教習所、フットサル、テニスコートなど）

健康増進温浴施設の提案

裏側から
屋上へアクセスできる駐車場

(3Fのみ有料)
自販機・お風呂チケット



展小こー)ー
ろいろな活用が考えられる)



受付・管理室・
関係者用打合せ
スペース



室内へ入る

「**意と健康を一体的に体験できる**」

温浴施設整備と
室内プールの機能分担

雨風がしのげる
屋根付き

井

歷示口十一

デッキ下には、施設を使わなくても利用できるコンビニ



町田リサイクル文化センター周辺まちづくりワークショップ実施結果

発 行：町田市 環境資源部 環境政策課

〒194-8520 町田市森野 2-2-22

電 話：042-724-4386

発行年月：2017 年 3 月